



## タイ 2 バンコク上水道整備事業(4-2)(5) バンコク上水道配水網改善事業

A  
B  
C  
D  
バンコク首都圏において浄水場およびポンプ場の新設、配水網整備等を行うことにより、給水需要への対応、漏水の削減および水質の向上等を図り、もって衛生環境の改善並びに商工業の活性化に寄与する。

承諾額/実行額 225億6,800万円/154億1,000万円  
 借款契約調印 1993年1月、1993年9月  
 借款契約条件 金利3.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイト  
 貸付完了 2000年11月、2001年1月  
 実施機関 首都圏水道公社



外部評価者 藤野 淳史((株)コーエイ総合研究所)  
 現地調査 2004年12月

### 評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに浄水場およびポンプ場の新設、配水網整備等が行われた。期間は工事許可の遅延、洪水による工事停止、アジア通貨危機に起因するコントラクターの資金繰り悪化のため、計画を大幅に上回ったが、事業費は計画を下回った。

新設されたマハサワット浄水場の上水生産量は、当初計画では1.46億 $m^3$ /年であったのに対し、2003年実績では1.25億 $m^3$ /年(計画比86%)であった。また、バンコク首都圏の水道普及率は、当初計画では80.1%であったが、配水本管の増設により、03年実績は87.5%と計画を上回っている。また、水質もWHO(世界保健機構)基準を達成した。なお、本事業の受益者数は693万人(千葉県人口約602万人)である。受益者調査では、回答者のうち8割以上が「上水へのアクセスおよび水道サービ

スの安定性(水量、水圧、水質の安定)が改善した」と評価している。

事業実施前の1998年と実施後の02年を比較すると、バンコクにおける10万人あたりの下痢患者数は878人から677人に減少しており、本事業は水系感染症の減少を通じて衛生環境の改善に貢献している。

首都圏水道公社の技術および体制面は問題なく、財務面は良好である。

### 第三者意見

本事業により、良質で手の届く価格の水が安定して供給されるようになった。バンコクと水の供給地との関係、漏水・盗水、適正な水道料金等が、持続性確保に向けた課題である。

有識者 Mr. Chuvej Chansa-ngavej (学者)

オハイオ州立大学博士(経営研究)。現在、シナワトラ大学経営学部副学部長。専門は経営学、産業工学。

本事業により新設されたマハサワット浄水場



本事業による効果●給水サービスの改善

給水サービスに関する受益者調査の結果

■ 大きく改善した ■ 改善した ■ 多少改善した ■ 改善していない

